

令和8年2月発行 No.77

いわくに市議会だより

シー

See議会

12月

3月

令和7年

第5回
定例会

9月

6月



「おむかいカフェ」

作者：岩国総合支援学校 喫茶班

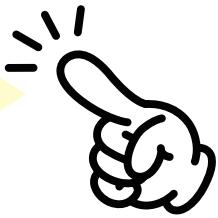


表紙作品紹介&学校紹介は16ページをご覧ください

市議会の新体制がスタート2

議会だよりの
WEBアンケートを始めました16

11月 臨時会 ハイライト



● 新しい副議長が決まりました！

令和7年11月18日に開催された11月臨時会において、副議長の選挙が行われ、山本辰哉議員（同志会）が選出されました。

また、議員選出の監査委員の選任に係る議案が可決され、矢野匡亮議員（志政いわくに）が監査委員に選任されることに、議会として同意しました。



副議長 山本辰哉



監査委員 矢野匡亮

副議長就任に当たって

11月臨時会におきまして、栄誉ある岩国市議会第21代副議長に御推挙いただき、誠に光栄に存じますとともに、その使命と職責の重大さを痛感し、大変身の引き締まる思いです。

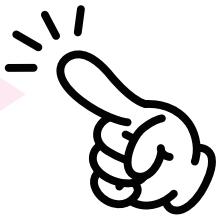
これからは片岡議長と共に、公平・公正で円滑な議会運営と議会の活性化に全力を尽くす所存です。

執行部とも真摯に議論を重ね、市民の負託に応えるため、誠心誠意努めてまいります。

● 新しい正副委員長が決まりました！

委員長	常任委員会				議会運営委員会
	総務	教育民生	経済	建設	
桑田勝弘	武田伊佐雄	丸茂郁生	瀬村尚央	中村 豊	
松田一志	野本真由美	奥江徳成	中村恒友	広中英明	

12月 定例会 ハイライト



● 令和7年度一般会計補正予算などの議案等26件を議決

12月定例会は、11月26日に招集され、12月22日までの27日間の会期で開催されました。

一般質問は、12月5日から9日までの3日間(休日を除く)で、18人の議員が登壇して行いました。

各常任委員会は11日から16日までの4日間(休日を除く)で開かれました。

最終日には、議案等26件を議決(可決25件、不採択1件)し、閉会しました。

【12月定例会の日程】

月 日	内 容
11月 26日	本会議初日
12月 5日	一般質問
12月 8日	一般質問
12月 9日	一般質問
12月 11日	経済常任委員会
12月 12日	教育民生常任委員会
12月 15日	建設常任委員会
12月 16日	総務常任委員会
12月 22日	本会議最終日

● 宇野千代をモデルとするドラマに伴う観光振興事業費の計上などを行う補正予算を可決

民生費 障害者の介護・訓練等の給付費を増額

1

補正額 1億6,483万2,000円

・障害者の介護・訓練サービスの利用者数や利用日数が増加したことに伴い、給付費を増額。

商工費 宇野千代をモデルとするドラマ観光振興事業費を計上

2

補正額 813万6,000円

・宇野千代生家への案内看板を設置するために必要な経費を計上。
・宇野千代をモデルとするドラマの放送を契機に観光振興施策を展開する宇野千代ドラマ観光推進実行委員会の活動に必要な経費の一部を負担するための経費を計上。

用語解説

補正予算

予算作成後の事情の変更によって、その予算に不足が生じた場合、また予算の内容を変える必要が生じた場合、出来上がった予算を変更する予算。

開会前に市民憲章を唱和しました



岩国市は、平成18年3月20日の市町村合併以降、令和8年3月で合併20周年を迎えます。

今後ますます市勢を発展させていくためには、さらなる一体感の醸成や、ふるさと岩国への郷土愛の深化が必要と考え、岩国市議会としましても、市民の皆様が各所で唱和されている「市民憲章」を市議会本会議初日に唱和することとし、令和7年11月26日の市議会定例会の開会前に議場の全員で唱和しました。

議員提出議案を提出

航空自衛隊機へのレーダー照射に抗議する決議

[提案者] 日本保守党岩国 石本 崇



去る12月6日の16時32分頃から16時35分頃までの間と、同日18時37分頃から19時8分頃までの間、沖縄本島南東の公海上空で、中国海軍の空母から発艦した戦闘機が、当該機体に対する対領空侵犯措置を実施していた航空自衛隊の戦闘機に対して、レーダー照射を断続的に行う事案が発生したと報じられている。

いずれの照射も、航空機の安全な飛行に必要な範囲を超える危険な行為であり、経済分野のみならず、軍事分野においても、我が国への圧力が増していると思慮される。

レーダー照射は、目標を探すことを目的とする捜索用レーダーと、目標にミサイル

等を命中させることを目的とする火器管制用レーダーがあるとされるが、今回の照射は約30分にわたる断続的なものであり、自衛隊機が対領空侵犯措置を適切に行う中において、いわゆる「ロックオン」とみなされる状態が続いたことからも、国際的にも危険な行為とされている。

本市議会としては、両国にとって取り返しのつかないような事態にエスカレートしないためにも、こうした危険な行為が二度と繰り返されることのないよう強く抗議するとともに、日本政府に対しても、国際社会と協調しながら、引き続き冷静かつ毅然とした対応の下、あらゆるレベルで意思疎通を図ることを求める。

議案と審議結果

【全会一致で可決した議案等】

▼議案

件名	概要		
岩国市一般会計補正予算(第2号)	補正前の額:839億3,619万2,000円	補正額:2億4,003万1,000円	補正後の額:841億7,622万3,000円
岩国市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)	補正前の額:6億100万円	補正額:422万7,000円	補正後の額:6億522万7,000円
岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	補正前の額:32億1,312万1,000円	補正額:△190万3,000円	補正後の額:32億1,121万8,000円
岩国市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	補正前の額:155億4,487万9,000円	補正額:△273万8,000円	補正後の額:155億4,214万1,000円
岩国市介護保険特別会計補正予算(第2号)	補正前の額:161億8,030万5,000円	補正額:1,177万8,000円	補正後の額:161億9,208万3,000円
錦帯橋管理特別会計補正予算(第2号)	補正前の額:2億4,056万8,000円	補正額:113万3,000円	補正後の額:2億4,170万1,000円
岩国市市場事業特別会計補正予算(第1号)	補正前の額:3億3,020万円	補正額:401万9,000円	補正後の額:3億3,421万9,000円
岩国市水道事業会計補正予算(第2号)	○収益的収支 補正後収入予定額:25億7,231万1,000円 補正後支出予定額:23億3,426万6,000円	○資本的収支 補正後収入予定額:10億5,122万7,000円 補正後支出予定額:19億7,998万円	
岩国市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)が創設され、令和8年4月から本格実施されることに伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準について定めるため、新たに条例を制定するもの		
岩国市屋外広告物等に関する条例	重要文化的景観に選定された「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」の地域においては、屋外広告物等の規模、形態、色彩などについて、きめ細やかで定量的な基準を設け、より実効性のある規制を行っていく必要があり、本市独自の新たな規制を含めた屋外広告物等の規制等について定めるため、新たに条例を制定するもの		
岩国市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、規定の整理を行うもの		
岩国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、乳児または幼児に対する健康診査が行われている場合、その内容が事業を利用する際などに必要となる健康診断に相当すると認められるときは、当該健康診断の全部または一部を行わないこととすること等について、規定の整備を行うもの		
岩国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行等に伴い、規定の整備を行うもの		
岩国市火入れに関する条例の一部を改正する条例	火入れを中止する際の条件等に「林野火災に関する注意報の発令」を加えること等について、規定の整備を行うもの		
岩国市下水道条例等の一部を改正する条例	災害その他非常の場合において、他の市町村長等が指定した事業者が排水設備等の工事を行うことができるよう、規定の整備を行うもの		
岩国市水道条例の一部を改正する条例	災害その他非常の場合において、他の水道事業者が指定した事業者等が給水装置の工事を行うことができるよう、規定の整備を行うもの		
岩国市一般会計補正予算(第3号)	補正前の額:841億7,622万3,000円	補正額:3億3,719万1,000円	補正後の額:845億1,341万4,000円
岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	補正前の額:32億1,121万8,000円	補正額:108万6,000円	補正後の額:32億1,230万4,000円
岩国市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	補正前の額:155億4,214万1,000円	補正額:643万9,000円	補正後の額:155億4,858万円
岩国市介護保険特別会計補正予算(第3号)	補正前の額:161億9,208万3,000円	補正額:449万2,000円	補正後の額:161億9,657万5,000円
錦帯橋管理特別会計補正予算(第3号)	補正前の額:2億4,170万1,000円	補正額:91万2,000円	補正後の額:2億4,261万3,000円
岩国市一般職の職員の給与に関する条例及び岩国市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	人事院及び山口県人事委員会の給与改定の勧告に伴い、一般職の職員等の諸手当の額及び支給割合並びに給料表の額を改定することについて、規定の整備を行うもの		

※議決結果 ○=可決、認定、承認、同意、採択 ×=否決、不認定、不承認、不同意、不採択

※議員の賛否等 ○=賛成 ×=反対 退=退席(採決時不在) 欠=欠席(終日不在)

※議長(片岡勝則)は表決に加わりません。

※会派名の略称は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、リベ=リベラル岩国、
声=市民の声をきく会、保=日本保守党岩国、市=市民クラブ、草=市民ファースト草の根

議案等の審査状況

QRコードから
委員会審査報告全文が
御覧いただけます

Pick up

1

議案第108号

令和7年度岩国市一般会計補正予算(第2号)



経済常任委員会

朝ドラを生かした適時適切な観光振興の取組

問

宇野千代をモデルとするドラマ観光振興事業の事業内容を問う。

答

NHK連続テレビ小説「ブラッサム」の制作発表を受け、このドラマを生かした観光誘客やにぎわい創出等を目的とした事業である。具体的には、観光団体などの26団体と共に組織した宇野千代ドラマ観光推進実行委員会の事業に必要な負担金と、生家への案内看板の設置費用を計上している。

問

錦帯橋から宇野千代生家は距離が離れており、自動車等で周遊する観光客によって交通渋滞が発生することが懸念される。

また、ドラマのロケは来年春から開始と聞いており、桜の時期の観光客は例年より増えることが予想される。一般質問において、臨時駐車場を整備するという答弁があつたが、供用開始の時期とそれまでの対策はどのように考えているのか。

答

現時点では、臨時駐車場の供用開始は来年の夏頃を想定しているが、時期を早めることができるか検討してまいりたい。また、臨時駐車場が整備されるまでは、錦帯橋下河原駐車場の利用推進や宇野千代生家までの迂回ルートの周知を行うなど、地域住民に配慮して取組を進めていく。

Pick up

2

議案第108号

令和7年度岩国市一般会計補正予算(第2号)



教育民生常任委員会

障害者福祉費の介護・訓練等給付費の増額理由

問

今回、約1億6,400万円の増額補正となるが、当初予算から見ると約4.6%の割合となる。利用者数や利用日数について、当初の見込みからどれだけ増加があったのか算定根拠を伺う。

答

主なもので、まず、ホームヘルプの居宅介護について、当初、月平均137人の見込みに対して今年度実績が151人、月平均14人の増加。補正額としては1,601万7,000円の増額。次に、デイサービスの生活介護について、当初、月平均383人の見込みに対して今年度実績が387人、月平均4人の増加。1人当た

り月23日まで利用できることから、補正額としては4,177万5,000円の増額。就労継続支援B型について、当初、月平均353人の見込みに対して今年度実績が367人、月平均14人の増加。補正額としては2,965万4,000円の増額。施設入所支援について、当初、月平均238人の見込みに対して今年度実績が235人、利用者数としては月平均3人の減少であるが、単価が上がったことから、補正額としては5,715万2,000円の増額となる。

常任委員会では、付託された議案などの審査を行い、その経過及び結果を本会議で報告します。本ページでは、審査報告のうち、特に市民の皆様にお伝えしたい審査の経過を抜粋して御紹介します。

Pick up

3

議案第117号

岩国市屋外広告物等に関する条例



建設常任委員会

美しい文化的景観を守り、郷土愛・歴史を感じられる町と共に

問 本条例により重要な文化的景観に選定された城下町地区において、屋外広告物の表示等に必要な規制を行うことが可能となることについては、大変賛同できる。

また、この地域は美しい日本の歴史的風土100選にも選定された地域である。とりわけ大明小路を中心として、昔は職業別の地名がついており、そのような歴史的な町名として米屋町をはじめ、材木町、寺町、魚町、鉄砲小路、登富町、塩町、それらに加えて、城下町特有の防衛のための町であった曲尺町など、歴史の示すところである。

本条例を契機として、こうした城下町特有の歴

史的な町名の掲示をいま一度しっかりと行って、観光客の方に歴史を感じていただくとともに、住民の方にも歴史のある町であることを改めて認識していただくことについて、市はどのように考えているか。

答 岩国七町については、岩国市歴史的風致維持向上計画や本条例においても対象地域としていることから、歴史的な町名を大切にし、観光客の方にも分かりやすく伝わるよう、今後検討してまいりたい。

Pick up

4

議案第108号

令和7年度岩国市一般会計補正予算(第2号)



総務常任委員会

特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額理由

問 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額理由は。

答 当該交付金は防衛施設の設置または運用がその周辺地域の生活環境または開発に及ぼす影響の程度等を考慮し交付されるものであり、このたびの増額理由としては、陸上自衛隊機、E-2Dの陸揚げ、空母着艦資格取得訓練(CQ)、外来機の飛来、夜間飛行訓練、機種更新、日米共同訓練、キーン・ソード等と施設整備などを考慮したものと国から聞いている。

問 増額分の中に、先般実施された空母艦載機着陸訓練(FCLP)あるいはミサイルシステム「タイフォン」が展開された訓練等は入っていないようであるが、国からはどういう説明があったのか。

答 当該交付金は、外来機の飛来や離発着回数などの一定期間の運用を内容とする基礎的な部分と大型艦船の入港などの特殊要因を内容とする特例的な部分があり、その特例的な部分での増減が毎年あるため、今回の補正予算に計上している。

代表質問

※会派(構成員3人以上)を代表して行う質問のこと



日本共産党市議団
小川安士 議員



市民の食料の安定確保計画と目標はない

問 今年は米を買える見込みも立たず、不安が広がった。市民の食料安定確保策は検討しているのか。

答 国全体の視点から安定供給を図ることとされており、岩国市農林業振興基本計画に基づく取組を進めている。

問 農林業センサスでは、農業従事者が5年で31%減少し、平均年齢は山口県が全国一である。65才未満が岩国は約120人だが、どう受け止めているのか。

答 遊休農地が増加し、農業・農村を取り巻く状況は大変厳しい。

問 食料・農業・農村基本法では、自治体は凶作でも食料の安全保障の責務があり、生産部門だけの責任ではないのではないか。

答 国民の食料は、国主体で確保することとされている。

問 食料騒動の常態化と離農増と、2つの危険性の対策を検討されるのか。

答 農業者の減少や、遊休農地の増加に対応したい。

問 天明の飢饉で上杉鷹山は餓死者を出さなかったが、岩国でも手本となる対策を検討できないか。

答 国とも連携して責務を果たしたい。

二度とFCLPを実施させないために

問 FCLP終了後の市の対応について問う。

答 二度にわたり市長・議長が共に防衛省・外務省を訪問し、市の基本方針に反してのFCLP実施に抗議するとともに、二度と岩国基地で実施しないよう強く要請した。今後もあらゆる機会を通じて国や米国に求めてゆく。

問 硫黄島の現状について問う。

答 国からは、一部施設に被害が出ているが、自衛隊の活動に大きな影響は出ておらず、引き続き復旧に取り組み、硫黄島での実施を米側に働きかけていくとの回答を得ている。

問 地方自治体は国の防衛政策に協力すべきとの意見も

ある中、岩国基地でのFCLPを容認しない理由を改めて問う。

答 国と地方の役割分担において、外交・防衛政策は国の専管事項であり、市は協力する立場だが、FCLPのような激しい騒音をもたらす訓練は、地方自治体の責務である住民福祉の増進を明らかに損ねるものであり、基本方針として「容認できない」としている。



憲政会
瀬村尚央 議員



熊の被害防止対策について



憲政いわくに
藤重建治 議員



条件を満たせば市町村の判断で市街地での「緊急銃猟」を可能とする改正鳥獣保護管理法が施行された。

このことから、山口県も市町村担当者の研修会

を開催し、さらには本市横山地区河川敷に熊が出没したという想定での「緊急銃猟」の機上訓練が実施されたと聞いている。今後の熊の被害防止対策の取組を伺う。

答 国のガイドライン発表と制度説明を受け、山口県の素案に基づき「緊急銃猟対応マニュアル」を作成したところである。今後は、平素から対応マニュアルを更新しながら、熊による被害防止に努めていく。



公明党議員団
奥江徳成 議員



交通対策の強化について

問 高齢者等福祉優待乗車事業について、市外に対象を拡大することについて伺う。

答 バス路線については、六日市方面と大竹市方面、周南市方面の3つの路線が該当する。JR岩徳線の利用促進を阻害してしまうおそれもあることから、徳山駅まで対象に含めることは難しいと考えている。

一方で、生活交通バス等においては、事業の実

施目的が生活交通の手段として地域住民の福祉の増進に資するためであることから、地域住民の日常的な生活圏域における移動手段となっていると考えられ、地域の実情も踏まえた上で、市外部分も対象とすることについて、今後検討することも必要だと考えている。生活交通バス等の運行事業については、地域により運行を依頼している事業者も違うことから、事業者との協議や地域の利用状況、地域住民の意見等も伺いながら、調査研究していく。

一般質問

※議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くこと

ビジネスケアラーについて

問 家族の介護をしながら働くビジネスケアラーが増加している。2030年には約318万人がビジネスケアラーになると予測がある。仕事と介護を両立して働き続けられる環境整備への見解を問う。

答 家族などの介護は突然発生するなど、いつ起こりうるものか分からない。そのため、働く者がいつそのような状態になつても、生活的にも経済的にも安心して仕事が継続でき、必要な介護が行えるよう、社会全体で支援する体制を整えることが重要と考える。介護を理由に離職となつた場合、

事業主・従業員双方にとって非常に残念なことになる。仕事と介護の両立は大変重要であり、望まない介護離職を防止するためにも、相談窓口、支援制度などの情報についての周知などを含め、引き続き、福祉や産業などの関係部署が連携し、対処していきたいと考えている。



公明党議員団
中村 豊 議員



米軍岩国基地、市税の滞納、産科医の現状、他

問 25年ぶりに実施されたFCLPについて、国などへの要請とその回答について説明を求める。

答 国からは今後FCL

Pを実施しないとの回答はなかつたが、硫黄島で実施するよう米国側に働きかけていく旨の回答があつた。

問 事業継続や生活の維持が困難な問題を抱える、市税の滞納者にどのような対応を行つてあるのか説明を求める。

答 滞納者に寄り添つて延滞金の減免、徴収猶予、執行停止を適用している。

問 産科医が不足している現状と産科医療体制の安定的確保を目指す対策と産後ケア事業の課題について説明を求める。

答 令和8年4月からは分娩可能医療機関が1医療機関になる予定なので、周南医療圏を含めた県東部地域における、周産期関係者会議を開き、情報共有や意思疎通を図つて、委託料の見直し、ハイリスク加算について調査研究していく。



日本共産党市議団
松田一志 議員





市民の声をきく会
中村恒友 議員



主要国道188号の通行止め対策について

問 黒磯町地内の越波による通行止め対策について、長年多くの住民から強い要望をしてきた。令和4年の台風14号襲来の

越波により、田布施町別府-光市室積間、由宇町神東地内、そして黒磯町地内3箇所で通行止めとなった。このうち、黒磯町地内の通行止めは15時間を超えるものであった。災害時の避難路を含め、大変重要な生活道でもあり、一日も早い対策

について問う。

答 越波対策について、令和4年の台風14号襲来の際の通行止めに対し、市長自らが国土交通省山口河川国道事務所長に要望書を手交するなど、様々な機会を捉えて要望活動を行うとともに、藤生長野バイパスが早期に開通できるように取り組んでいきたい。



県内初となる緊急銃獣の机上訓練について

問 先日行われた緊急銃獣の机上訓練について詳細を問う。

答 このたびの机上訓練では、錦帯橋上流の河川敷に熊が出没したことを想定し、本市のマニュアルに基づき、関係法令に沿った適切な対応手順等を班ごとに検討し、結果を精査した。まず、市職員や警察、獣友会、山口県職員が含まれるよう一班を8名で編成し、6班で訓練を開始した。現地到着から銃獣完了までの一連の流れを6つの段階に分け、各段階で必要な準備や注意点、次の段階へ移行するために必要な事項等について意見交換する

過程で、最適な判断や改正法の理解、実施手順及び意思決定のプロセスについて確認した。



憲政会

武田伊佐雄 議員



問 関係機関との連携はどのような状況か。

答 山口県警におかれては、ライフル銃を用いた熊駆除体制の構築に向けて、現在は検討段階にあると伺っている。今後も関係機関とより一層強固な協力体制を構築し、熊被害に対応していく。



志政いわくに
藤本泰也 議員



軽度・中等度難聴者補聴器購入助成について

問 軽度・中等度難聴者補聴器購入助成の対象を18歳以上65歳未満にも拡大することについては以前にも質問しており、担当部

長からはなるべく早く18歳以上64歳までの難聴者補聴器購入助成事業も始めたいとあったが、今後の方針を伺う。

答 軽度・中等度の難聴児が18歳以降になって補聴器の買換えが必要となった際に助成がなくな

ることや、中途失聴者が就労等を継続するために新たに補聴器の購入を検討する際に高額であり、そもそも助成制度がないため補聴器の購入をためらう状況があることは承知している。難聴者が補聴器を適切に使用することにより、生活の質が向上するなどの好影響があるとされていることから、年齢に関係なく、自分に合った補聴器を購入することができる環境を整えることが必要であり、情報バリアフリー化の推進と社会参加を支援していく観点から、18歳以上65歳未満の軽度・中等度難聴者の補聴器購入費助成制度を新年度から実施する。

リベラル岩国
姫野敦子 議員

縦割りを超えた子育て・福祉支援

問 保護者の方から、障害児の子育てや外出時など困難を抱えていると伺った。どこに相談すればよいか分からない、子育ての悩みが障害福祉の相談に該当するか判断できないといった戸惑いがあり、行動に移せないケースもある。外出先ではバリアフリー環境が十分でなく、安心して利用できるトイレが少ないなど、ハード面の課題も残されている。こうした課題は、

子育て支援、福祉など複数の分野にまたがるため、縦割りを超えた連携やワンストップの相談体制について問う。

答 本市では、療育サポート部会を中心に関係機関との連携を図り、児童発達支援センターを中心とした包括的支援体制を構築中である。さらに、社会福祉法改正に基づく重層的支援体制整備事業の導入を検討しており、府内横断的な仕組みづくりを進めている。今後も、医療・教育・地域団体と連携し、誰もが安心して相談できる体制を目指していく。

市民の暮らしを支える物価高騰対策を聞く

問 国は、令和7年度補正予算において、重点支援地方交付金2兆円を計上した。岩国市には約11億円が交付されるとのこと。国は、お米券などを推奨しているが、本市では、プレミアム商品券に期待する声が多い。そこで確認するが、今、ガソリン価格は下落傾向にあるものの、米をはじめ諸物価の上昇に歯止めが利いていない。については、市民生活や事業者にどういった影響が出ているのか、特に負担が増している分野はどこか伺う。主婦の声を聞くと、「食品の値上がりで例年どおりのお節を用意してお正月が迎えられない」、お年寄り

からは、「年金が目減りし、孫に例年どおりの金額を渡すのが厳しい」等、切実な声を聞く。については、調査を基に、市民の暮らしを支える本市独自の物価高騰対策について伺う。

市民クラブ
重岡邦昭 議員

答 市民の暮らしや事業者を守るために、国の施策の動向を注視するとともに市民生活や市内経済の状況を把握し、より効果的な施策の実施に努めていきたい。

志政いわくに
丸茂郁生 議員

岩国錦帯橋空港の利用促進について

問 空港利用者の駐車場の増設については、将来を見据えて整備に取り組んでいただきたい。また、様々な要素から、利用者は日を追うごとに増えていくことは容易に予測される。発着便の増便、機体の大型化、北海道への直行便の実現について空港会社と積極的に協議していくべきと考える。岩国錦帯橋空港の今後の展望について伺う。

答 増便の実現には、様々な課題をクリアする必

要がある。機体の大型化については、ANAから、搭乗率が好調な空港は、常に注視しており、搭乗率が大きく伸びるなど、好調に推移すれば、段階的に中型機の運航を増やすなどの可能性はあると前向きな方針を伺っている。北海道への直行便については、既存路線との需要比較など慎重な検討が必要になるとを考えている。今後は、利便性向上と利用促進に努め、次のステップを目指していきたい。

▶ その他の質問

- ・東小・中学校で大量発生したセアカゴケグモについて
- ・屋外・屋内での熱中症対策について



憲政会
松川卓司 議員

朝ドラ「ブラッサム」に係る観光振興について

問 本年5月、本市出身の女流作家である宇野千代先生をモデルとした同作品が、来年秋から放映されることが発表された。

放送を契機に、作品に登場する周辺の観光資源を巡る観光客の増加が期待される。しかし、宇野千代生家周辺の道路は狭く、駐車可能台数も少ないとから、駐車場対策が急務であると考えるが、当局の見解をお伺いする。

答 放送を契機に観光客の増加が見込まれ、駐車場対策が急務であると考えている。これまでにも近隣に臨時駐車場を確保したい方針を示していたが、近隣スーパーの未利用地について用地をお借りできる見込みとなった。今後の契約等の手続を行った上で、放送開始までに臨時駐車場として整備していきたい。

就学時健康診断の実施方法の改善を！

問 教員の長時間労働が深刻な課題となっている。本年6月に改正教育職員給与特別措置法が成立し、教育委員会は来年4月までに業務量管理・健康確保措置実施計画を策定することが義務づけられた。長時間労働の是正や業務の適正化が求められる中、教員の負担軽減策の一つとして就学時健康診断の実施方法の見直しが望まれる。現在は各学校で実施しているが、県内他市では市内1か所や近隣校で合同実施する方式を導入している。こうした取組により、教員の準備や運営にかかる負担が軽減されると考える。本市においても同

様の改善策を検討すべきと考えるが見解を問う。

答 実施方法について、学校・保護者・学校医・学校歯科医などを含め、実施体制について検討していく。

▶ その他の質問

- ・介護職員の人材確保について
- ・産後ケア事業について



公明党議員団
野本真由美 議員

生成AIの活用について

問 教育現場における生成AIとの向き合い方について問う。生成AIの活用においては、不正確な情報の提示や著作権を侵害するケースなどリスクを抱えている。小・中学校におけるAI学習に当たり、利用する際のルールやモラル、リスク教育はどのように指導しているのか。



市政改革クラブ
細見正行 議員

おける個に応じた学びの充実に活用している。小学校においては、原則、生成AIは利用できないが、学習効果を高めるために教員が必要と判断した場合のみ、保護者の同意を得て利用できるようにしている。教育委員会としては、児童・生徒が生成AIの様々なリスクを理解した上で、適切に活用できる力の育成に向けて、小・中学校9年間の教育活動全体を通じた情報モラル教育の推進及び教職員研修の充実に努めていく。

答 中学校においては、特別な設定を施した生成AIを導入しており、各教科の授業や家庭学習に

日本保守党岩国
石本 崇 議員

建築基準法に該当しないのはいかがなものか

問 美和町の上海電力が事業主であるメガソーラーについて、以前より太陽光パネルの架台周辺で、土砂災害発生の重大な

リスクとなる豪雨による複数の洗堀が確認されている。また、建築基準法に該当しない工作物等であるため設置の制限が難しく、これが原因で洗堀が発生したのではないか。対策について問う。

答 この件については、何度も指摘を受けてい

るが、対策として約22ヘクタールにわたり、土砂防止に優れた工法等で緑化工事を事業者側が行っている。あわせて、緑化水路の設置工事も施工されており、これら複合的な対策により、洗堀の防止や濁水の流出抑制に効果が見込めると考えている。確かに建築基準法による対応は難しいが、市と事業者が締結した「環境保全等に関する協定書」や令和6年1月に施行した「岩国市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」に基づく事前協議などの手続や、環境保全協定を締結することで対応していきたい。

上関中間貯蔵施設建設の民意をくみ見解表明を

問 柳井市議選で市民は反対の意思表明をした。岩国市には30キロメートル圏内で生活している市民がいる。福島の原発事故で放射能の拡散は風向きで違うと判明した。建設推進者の中電が調査した報告書に信憑性はあるか。山口県知事は周辺自治体の理解も大変重要と表明した。岩国市の見解表明に至るプロセスを問う。

答 本市は法定の同意を



求められず、事業計画等が作成されれば説明を求めるなど適切な対応に努める。

▶ その他の質問

・公務・公共サービスの

民営化は、人件費を抑えるため非正規や派遣労働者を増やし、労働条件を切り下げるなど弊害があるので、安易に民営化しないこと。

・街路樹を計画的に整備し、美しく潤いある景観をつくること。

日本共産党市議団
長岡辰久 議員

新公会計制度の今後の取組について

問 本市は、平成18年の総務省指針を受け、新公会計制度により発生主義・複式簿記を活用した財務諸表を作成・公表している。

その目的は、①説明責任と②事業遂行のマネジメントである。新公会計制度は財務会計のみならず、管理会計の視点も必要とされているが、「新公会計制度の必要性が分からぬ」との声は、全国同様に本市でも聞かれる。そのような中において

も、人口減少による事業の効率化、厳しい財政環境から、公会計推進レポートのような取組も見られる。今後の制度の充実した活用のためには、制度の目的への理解が必要である。導入以来、時間も経過しており、外部の専門家を招聘し管理職も含めた研修が必要と考えるが、このことについて問う。

答 そのような研修の実施に当たっては、庁内の状況をはじめ、どのような講師、対象職員、内容で行うかなど、必要性を確認した上で実施について検討したい。

公明党議員団
桑田勝弘 議員

視察報告

議会広報

- 10/15 東京都あきる野市 議会だよりのリニューアルについて
10/16 会議録センター 「次号からすぐに生かせる！」
全ページクリニック+紙面リメイク
10/17 東京都狛江市 議会だよりの編集について

市民により「分かりやすい」「読みやすい」議会広報紙づくりを学ぶ

議会広報特別委員会では、市民の皆様に議会の取組を分かりやすく情報発信するために編集会議を重ねてあります。視察先の会議録センター（埼玉県鴻巣市）では令和6年6月発行号からリニューアルした本紙を専門の編集者に表紙から裏表紙までチェックしていただき、今後の編集に取り入れられるヒントも得ることができました。また、あきる野市や狛江市では、議案審査の掲載や余白の使い方などについて学びました。

本委員会は、視察の成果を踏まえ、議会を身近に感じていただけるように、市民目線に立った積極的な広報活動を推進していきます。



議会運営

- 10/27 沖縄県宜野湾市 参考人制度の活用状況について
宜野湾市議会先例集について
10/28 沖縄県那覇市 参考人制度の活用状況について
議会運営事例集について
10/29 沖縄県名護市 市民意見交換会について

市民参加を取り入れた取組を学ぶ

宜野湾市と那覇市では、委員会における請願や陳情の審査において、願意の趣旨を的確に把握するため、提出者や学識経験者を招致する参考人制度を活用しています。また、議会運営を能率的に行うための参考資料として、議会におけるこれまでの事例や取り決めをまとめた先例集を作成しています。名護市では、市民の声を聴き取って、市の政策に反映させるため、効果的な開催方法を工夫しながら、市民意見交換会の充実に取り組んでいます。本委員会は、今回の視察で学んだ市民参加を取り入れた取組などの知見を今後の委員会活動に生かしてまいります。



議員活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほか、各種研修や市内の行事などへの参加など、様々な活動を行っています。今回は10月から12月までの活動実績を報告します。

10月

- 2 (木) 岩国商工会議所からの要望書受領



- 2 (木) 第1回定期監査(～3日まで)
3 (金) 経済常任委員会企業訪問
4 (土) 第38回「小さな親切」運動岩国支部推進大会
4 (土) 第5回鉄道資源活性化サミットin岩国
7 (月) 中山間地域振興施策に関する提言書提出
7 (月) 高知県四万十市行政視察受入れ対応
7 (月) 史跡名水桜井戸「水神祭及び観月のお茶会」
8 (水) 令和7年度畜魂祭
8 (水) 全国市議会議長会基地協議会
9 (木) 第4回沖縄の基地問題を考える議員の会
10 (金) 山口県市議会議長会臨時総会
11 (土) 岩国錦帯橋空港利用者500万人達成セレモニー
13 (月) 岩国忠靈塔供養 岩国護国神社秋季大祭
15 (水) 第19回岩国市和牛共進会
15 (水) 議会広報特別委員会視察(～17日まで)
16 (木) 東京合同要望 小瀬川総合整備促進協議会
及び国道186号整備促進協議会
17 (金) 宜野湾市行政視察受入れ対応
18 (土) 第69回岩国祭振興祈願祭
19 (日) 第69回岩国祭



- 20 (月) 宜野湾市議会議長表敬訪問対応
21 (火) 岩国地区消防組合議会
21 (火) 大竹市正副議長来庁対応
22 (水) 吉川廣家公400年祭
22 (水) 全国高速自動車道市議会協議会令和7年度理事会
23 (木) 第51回山口県商工会大会
25 (土) You・ゆう・フェスタ2025
25 (土) 山口県市町村職員年金者連盟
岩国市支部岩国分会令和7年度総会懇親会

- 26 (日) 第69回岩国市美術展覧会表彰式
27 (月) 議会運営委員会視察(～29日まで)
27 (月) 例月出納検査、第2回事前審査結果報告
29 (水) 全国市議会議長会基地協議会第113回理事会
29 (水) 基地関係国会議員との情報連絡会
30 (木) 西日本都市監査事務研修会出席(～31日まで)
31 (金) 議会広報特別委員会

11月

- 3 (月) 第48回岩国市自治会連合会親睦ソフトボール大会
3 (月) 令和7年度岩国市文化功労賞等表彰式典



- 3 (月) 令和7年度岩国市文化協会文化功労賞等祝賀会
5 (水) 議会運営委員会 会派代表者会議
5 (水) 第2回定期監査(～11日まで)
6 (木) 令和7年度吳警備区殉職隊員追悼式
7 (金) 令和7年度岩国航空基地殉職隊員追悼式
8 (土) 錦帯橋芸術文化祭2025
12 (水) 議会運営委員会 会派代表者会議
12 (水) じんけんフェスタ2025inいわくに



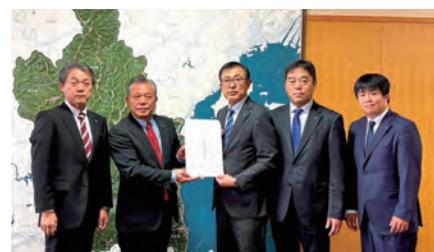
- 13 (木) 自民党、防衛省、外務省、文部科学省へ要望活動
15 (土) 第44回創立40周年記念宜野湾市文化祭
18 (火) 岩国市議会臨時会
18 (火) 各常任委員会 議会広報特別委員会
18 (火) 高齢者福祉事業支援に関する要望書受領
19 (水) 防衛省課長来庁対応
20 (木) 議会運営委員会 会派代表者会議
21 (金) 米海兵隊創立250周年記念式典
25 (火) 第5回鉄道資源活性化サミットin岩国実行委員会
25 (火) 岩国市レクリエーション連盟表彰式
25 (火) 例月出納検査
26 (水) 岩国市議会定例会初日

- 28 (金) 「第22回岩国駅前ツリー祭り」
イルミネーション点灯式



12月

- 1 (月) 岩国法人会提言書受け取り



- 4 (木) 岩国商工会議所年末懇談会
5 (金) 一般質問(～9日まで)
6 (土) 米海兵隊岩国航空基地司令官主催ツリー点灯式
8 (月) 議会運営委員会
9 (火) 議会運営委員会 会派代表者会議
10 (水) 議会広報特別委員会
11 (木) 経済常任委員会
12 (金) 教育民生常任委員会
14 (日) 令和7年度岩国市スポーツ功労者等表彰式



- 15 (月) 建設常任委員会
16 (火) 総務常任委員会
16 (火) 岩國白蛇神社例祭(十四年祭)
17 (水) 中山間地域振興施策調査特別委員会
22 (月) 議会運営委員会 会派代表者会議
22 (月) 岩国市議会定例会最終日
22 (月) 錦帯橋世界文化遺産登録推進議員連盟総会
22 (月) 自衛隊協力議員連盟総会
22 (月) 議会広報特別委員会
22 (月) 中山間地域振興施策調査特別委員会
25 (木) 例月出納検査、第3回事前審査結果報告
25 (木) 柳井地域広域水道企業団議会第2回定例会



作品の紹介&学校紹介

作品の紹介

岩国総合支援学校では、昨年度校舎を増築して新たに喫茶室ができ、喫茶班メンバーの名前の頭文字をとって「おむかいカフェ」と名付けました。お向かいにある気軽に立ち寄れるカフェにできたらいいなという想いが込められています。在校生や保護者、先生方や地域の方々に、笑顔で心の込もったおもてなしができるように練習を頑張っています。



喫茶班の皆さん

今号の表紙は、**岩国総合支援学校**に作成してもらいました！

次号の表紙も引き続き、市内の高等学校の皆さんに作成してもらいます！

学校紹介

岩国総合支援学校は、小学部・中学部・高等部があり、現在143人の児童・生徒が在籍しています。笑顔で元気に挨拶をし、みんなで仲良く学校生活を送ることをチャレンジ目標に掲げ、日々楽しく学んでいます。高等部では、社会参加に向けて、やさしく強くたくましく豊かな人間性を身につけることを目指し、作業学習や現場実習に積極的に取り組んでいます。

3月 定例会 2月24日(火)開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23	24 開会	25	26	27	28
3/1	2	3	4	5 一般質問	6 一般質問	7
8	9 一般質問	10	11 委員会 (経済)	12 委員会 (教民)	13 委員会 (建設)	14
15	16 委員会 (総務)	17	18	19	20	21
22	23 閉会	24	25	26	27	28

※開会時間は午前10時の予定です。傍聴ご希望の場合は、本庁舎6階の議場受付までお越しください。
※日程が変更となる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

このたび新委員長として松川卓司委員、新副委員長として長岡辰久委員が就任することとなりました。新正副委員長の下、市民の皆様にとって「開かれた議会」を目指してまいります。

また、岩国市議会議員一般選挙の日程が10月25日(日曜日)投開票に決定しました。残りの任期においても、市民目線に立ち、より分かりやすく議会の取組をお伝えしてまいります。

議場に心が和む「生け花」



12月定例会の一般質問の間、「華道家元池坊岩国支部」の方々に生け花を展示していただきました。

WEBアンケート募集中

「See議会」のご愛読ありがとうございます。

今後の紙面作成の参考にさせていただきますので、市民の皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

回答期日 2月28日(土)



目の不自由な方へ

いわくに市議会だより「See議会」の音声データを希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行／岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5193 FAX(0827)21-1001
編集／議会広報特別委員会 印刷／フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>